

回 覧

2020年1月20日

会員各位

松風台自治会/松風台防災会
会長 茂木 信男

感震ブレーカー説明会開催のご案内

標記の件、下記の通り茅ヶ崎市都市政策課による説明会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

記

1. 日時:2月8日(土) 13:30~15:00
2. 場所:松風台自治会館 集会室
3. 内容: ① 感震ブレーカーについて
質疑応答
② その他

以上

令和2年度の茅ヶ崎市の設置に対する補助は未定ですが、松風台自治会としましては自治会が多少の補助をしても多くの方々の設置を目指したいと考えております。

<参考>令和元年度の茅ヶ崎市の補助制度
簡易タイプの感震ブレーカーの設置に対して
補助率 本体価格(税込み)×2/3
上限金額 上限 3,000円/個

..... 切り取り線
事務局宛(提出期限2月3日)

感震ブレーカー説明会参加申込書

住所	氏名	電話番号

提出先: ①自治会館入口ポスト内事務局長レターケース ② 岡野宅
③電話 / 携帯電話
④E-Mail:

感震ブレーカーの重要性

感震ブレーカーとは震度 5 以上の強い揺れを感知し、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具で、電気火災の発生抑制に効果がある

<https://www.kanshin-anshin.com/important/>

地震火災について

☆被害原因

	マグニチュード	最大震度	出火原因が特定できた総出荷件数	総出火件数のうち電気火災
阪神・淡路大震災 1995/1/17	7	7	139	85
東日本大震災 2011/3/11	9	7	110	71

☆地震火災の発生の種類

転倒火災……建物の倒壊や家電の転倒で、電気ストーブや照明器具が可燃物と接触して火災が発生する

通電火災……停電後に電気が復旧した際に、地震直後は火災が発生しなかった地域でも、通電状態となったヒーターや電気機器、自身によって損傷した敗戦から出火する

2016年4月14日と16日に発生した熊本地震は自信が原因となる火災のうち、通電火災は1件もなかった。春先で暖房器具を使用する季節ではなかったことと、通電火災が多発した阪神・淡路大震災の教訓を生かし、災害時にはブレーカーをおとすよう啓発されていたことも通電火災ゼロに繋がったと考えられている。

地震火災の対策

日常生活に必要な電機は、地震発生時において主な出火原因となる。感震ブレーカーの設置は、不在時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合に、地震による火災を防止する有効な手段である。地震後の火災は、事前の対策をすることで被害を極小化できる。その事前の対策に一番効果的なものが、感震ブレーカーである。

都市ガスやLPガスには、震度5以上の揺れでガスを遮断する装置が必ず設置されたい。電気においても「感震ブレーカー」で事前の対策を！！

簡易タイプの感震ブレーカー

	作動後停電するまで	設置する場所	参考価格(税別)
ヤモリ、まもれーる	直ちに	分電盤	2,500円
ヤモリ・デ・セット	直ちに	ふた付き分電盤	5,000円
Ki 感震センサー (アース線タイプ)	3分間	アース付きコンセント	4,950円